

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	0	戸外と室内で活動を分けることで、施設内にいる利用者一人一人のスペースを確保することはできている。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	4	0	常勤4名を配置し、保育士・児童指導員など有資格者を適切に配置はしているが、職員の休みが重なると通常よりも手薄となってしまうことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	0	4	安全上の理由でエレベーターが使用できず、階段を使用しなければならぬ。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	0	定期的に会議等を行って、見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	保護者からの意見も共有して改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	0	第三者による外部評価について依頼を行い承諾を得ている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	定期的に職員研修を行っている。
適切 な 寺	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者の方や利用者の方のニーズを取り入れながら計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	職員で意見を出し合い、活動を考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	曜日によって活動担当を変えるなど、多角的な支援ができるように意識している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	長期休みや学校振替休業日など普段の活動と内容を変えて、社会経験を促す活動や楽しみを感じられるような活動を計画、実施している。

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	特性や発達段階を留意しながら、個別活動と集団活動を組み合わせを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	午前中に前日の振り返りや当日の活動計画について、毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	翌日等に活動の振り返りをし、反省や気づきを職員で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎日利用者毎に記録を行い、支援計画の検証・改善を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的にモニタリングを行い、その都度職員間で共有している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	ガイドラインに沿って活動を設定している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	主に管理者が参加し、必要に応じてかわりの多い職員から聞き取りを行うこともある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0	毎月、送迎時間を記載したものをFAXで各学校に送っている。
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	0	就学前には支援会議に参加させていただき、児童発達支援での様子などを共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	必要な際には、新潟市や相談支援専門員のかたを通して、連携を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	0	戸外活動の際、地域の小学生と一緒に遊びを通して関係を持てるようにしている。また、学童クラブに在籍している方に関しては、学童クラブとも連携を行っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	2	現在は参加できていない状況なので、今後協議会等へ参加できるようにしていきたい。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	日々の活動記録を保護者と共有している。また、個別支援計画とは別に、気になることや相談などがあるときは、連絡を取り合っている。	

	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	0	講師の方から福祉サービスについて教わる職員研修会を、保護者の方も参加できるようにした。
--	---	---	---	---	---

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時はもちろん、質問や相談がある際には丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	定期的な面談を通して、必要な助言や支援を行っている。また、保護者参加型の勉強会を開催している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	0	年に1～2回保護者会を開催し、保護者同士の連携が取れるように配慮している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情受付担当と苦情解決責任者を配置し、迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月、月の予定を記載したお便りをメールで配布している。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4	1	0	施錠可能な棚に入れて保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	視覚支援を用いるなどそれぞれの特性に応じたコミュニケーションを心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	ボランティアの方などにお越しいただいて開かれた施設運営を目指しているが、感染症等の影響もあり、頻繁に招待するのは難しい現状がある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	ボランティアの方などにお越しいただいて開かれた施設運営をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	定期的に、水災害訓練と避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	虐待防止責任者を配置し、新潟県や新潟市が主催する研修会に参加し、虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	現在利用いただいている方は該当しないが、対応については利用契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	保護者からの情報をもとにアレルギーチェックをしている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	ヒヤリハットの事案があるときは、報告書を作成し管理者へ提出し、職員間で共有し再発防止に努めている。	